

ガレージ人間模様

GARAGE AND THE MAN



博物館館長
横田正弘さん

20年続く自動車博物館。
扉の向こうに注いだ情熱の歴史。

群馬県伊香保。家族で楽しめるテーマパークとして「おもちゃと人形自動車博物館」がある。1度は耳にした方も少なくないだろう。クルマが好きな館長、横田正弘さんを訪ねてみた。

photo/Junichi-OKUMURA (奥村純一) text/Jun-ISHIHARA (石原 淳)
special thanks to セーフティライフ
phone/052-221-8684 <http://www.safety-l.com>



所狭しとミニのピックアップまでディスプレイした館内。まるでサンタクロースがギフトを積んできたような楽しいディスプレイ。



限られた1階のスペースを2層にすることで多くのクルマの展示を実現。ミニから派生したモデルであるマスコも展示している。白の1台はミュージアムのなかでも珍しい、ミニのカットモデル。初心者が見学に来館してもミニの仕組みが分かるようにとの配慮。

横田正弘さん。ミュージアムの館長と呼ばれる方だけに、お堅い人格者のイメージを抱きつつ館内にてご挨拶。インタビューをはじめと想像とは裏腹に、じつに明るいクルマが好きな方がミュージアムを運営していると理解する。実際にクラシックカーで、カーレースに出場。そして主催するなど日本におけるクラシックカーの保持に尽力してきた館長。今年

で御年、61歳になる。「おもちゃと人形自動車博物館」は1994年に開業。年間40万人の人が足を運び、今や群馬県伊香保の観光スポットとなり、調べてみると開業以来、ずっと黒字経営を続けている日本でも数少ない私設ミュージアムとなっている。コンセプトは家族で楽しめるミュージアム。きっかけは館長がコレクション

していたものを展示してみたいと考えたのがきっかけで、子どもたちには「キッズワークランド」。男性には「クルマ」や「おもちゃ」。女性には「人形」や「ティディベア」とバラエティ豊かな館内の構成となっている。しかも頭が痛くなる歴史の表記は少なく、いかに館内に足を運んだ人が楽しめるかをコンセプトに、館内のディスプレイはすべて館長が決めている。



クーバーSのマークIIモデル。バリエーションが豊富なミニだけに、ミュージアムのなかにもいろいろあるバリエーションが並ぶ。



ミニの構造が分かるカットモデル。シンプルな構造でありながらも、マイナーチェンジを繰り返した歴史を積み重ねてきたミニが集約されている。

家族で楽しめるミュージアム。
だれもが笑顔の館内スペース。

ガレージ人間模様

GARAGE AND THE MAN



コーナーごとに分けられた施設の合間に、昭和の街並みを意識した通路や施設が用意され看板や建物がある。本物にこだわる館長は、当時のものを極力取り寄せることで臨場感を演出している。館長のこだわりのひとつであり、館長が自らディスプレイにまでアイデアを出すなど、どこを見ても昔懐かしいスペースが広がっている。取材中も観光バスが駐車場に到着すると、降りてきた人々は老若男女問わず、だれもが少年、少女のように眼を輝かせて館内を見てまわる。これこそ館長が目指していた、家族で楽しめる博物館という所以。年間40万人の人が訪れるのも、納得である。

じつは2014年12月から今まで展示していた国産ピンテジカーや360ccのスペースに加えて、ミニのミュージアムが追加される。『IKAHO MINI MUSEUM』と名付けられたスペースに約30台のバリエーション豊かなミニが展示される。1959年にモリス・ミニ・マイナーとして産声を上げ、マイナーチェンジを繰り返し2000年まで製造されたミニはなんと、1964年、'65年、'67年とモンテカルロラリーで優勝を遂げるなど実績を残す。現在でもクラシックミニのファンは多数おり、そのヒストリーはご存知の方も多いだろう。そのなかでも館長が選んだ歴代のクルマが並ぶが、そこは歴史とは異なりミニの初心者も楽しめるラインナップ。ミニをベースに改造された6輪車や、ハイリフトに改造されたミニ、そして消防車やボリスカーにカスタマイズされた

排気ガス排出システム「EGWAYOUT」のシングルを導入。狭いスペースに設置できるように90度の特別な加工が施された。



ガレージの観点からするとスチールにより製造増強された駐車スペース。クルマを上部にも展示できるなどスペースを活用。



専門学校で製造したファイルミニ四駆も展示。エスクートのフレームにミニのボディを移植したモデル。



1959年モリス・ミニマイナーとしてイギリスで誕生。2000年まで製造されていたため、マイナーチェンジを繰り返しながら生産し世界中で愛されたのがミニである。

イギリスから生まれたミニが、 世界で愛された理由を発見できる。

もの。そして必見はカットモデルになっているミニなど世界的にも珍しいものから、オリジナルのクーパース・マークIIなども。

ミニを展示しようと構想に10年かかったそうだ。ディスプレイには館長のアイデアが溢れており、ミニらしくレングス張りの壁面があったり、アルミ製のショーケースがあったりとガレージとしても参考になっている。しかもガレージに増設が増えてきた「EG WAYOUT」も設置するなどクルマ好きな館長らしいものも。この「EG WAYOUT」は標準のシングルを採用しているが、狭い展示スペースを配慮してメーカー側で配管を90度にするなど加工して納品がされている。開館は本誌が発売される12月1日から。大人1080円と、家族で遊びに行ける博物館。温泉街と知られる伊香保の街に出かけたらぜひ、立ち寄っていただきたい。じつは気さくで、ちょっとシャイな館長のトークもお見逃しなく。



世界のなかでも現存しているのは希少というミニのミニモデル。後部座席が取り除かれたショートモデル。カスタマイズでわくわくするのはタクシー仕様のミニ。



左/実際に映画のモデルとなった豆腐屋さんの看板、屋根、ドアを借り受けて展示。現在はイニシャルDフリークの聖地となっている。右/映画「三丁目の夕日」で使用されたセットやクルマも展示される。見どころ満載のミュージアムで時間が足りないほどだ。



上/子どもたちも楽しめるようにディスプレイも美しいな雰囲気にも、家族で楽しめるのもこのミュージアムの特徴。下/ミニに関するミニカーたちも展示。あくまでもコンセプトは高価なものではなく、楽しく。



ミュージアムの2階には日本のモーターショーを踏襲してきた名車たちがずらりと並び、1967年式トヨタ2000GTや、ブルーバード、スカラインが展示

ガレージ人間模様 GARAGE AND THE MAN



オイル漏れを考慮して、すべてのモデルのオイルパン下にはトレイを設置。これもメンテナンス性を保つてくれるひつと。



開館自動車道・渋川伊香保インターを降りてクルマで15分。伊香保・おもちゃと人形自動車博物館が現れる。駐車場もたくさんあり安心だ。

伊香保おもちゃと人形自動車博物館

群馬県北野町 郡
吉岡町上野田2145
水沢町吉田
Phone: 0279-55-5020
http://www.ikaho-omocha.jp/
営業時間
[4/25~10/31] 8:30~18:00
[11/1~4/24] 8:30~17:00